

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (北関東)	◎	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・夏祭りや花火大会等の日程が決まってきており、人出もかなり増える見込みのため、外食や飲み会の機会も増えてくる。
	◎	その他飲食〔ファーストフード〕（経営者）	・円安が進行してドル高になっている。インバウンドは現在でもかなり増えているが、夏休みやその後の行楽シーズンの時期にはもっと増えると思う。国内でも新型コロナウイルス感染症の5類移行により、今ではほとんどの人がマスクをしなくて、行動が活発化してきているため、今まで以上に掛ける機会が増えて、お金を落とすしていく。
	◎	旅行代理店（従業員）	・国内外共に人の移動が多く、良くなる。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の5類移行後、行動制限がなくなったので、地元最大のイベントの祭りが目前に迫り、子どもたちはおはやしの練習も始まり盛り上がりつつある。前年の人出を上回るのではないかと期待をしている。
	○	一般小売店〔土産〕（経営者）	・例年6月は、国内個人客の動きが少し落ち着く時期で、今年も同様の傾向である。ただし、円安のためか外国人観光客の姿が目立っている。外国人観光客数は新型コロナウイルス感染症発生前より確実に多く、消費にも積極的である。8月は夏休みで書き入れ時であるため、観光地としての景気はやや良くなる。ただし、観光業全体としては人手不足が深刻なため、全ての観光客を受け入れられずに売上の機会損失となることが危惧されている。
	○	百貨店（店長）	・インバウンド効果が低位にある地方店舗のため、今後も来客数、売上の増加スピードは、緩やかなものと想定している。
	○	百貨店（店長）	・生鮮製品を含めて、回復傾向が続くと判断している。
	○	コンビニ（経営者）	・気温が上がれば、客足が伸びるため、やや良くなる。
	○	コンビニ（店長）	・今月はなぜか来客数の落ち込みが大きかったが、これは回復するとみている。
	○	衣料品専門店（統括）	・夏祭りの時期に入っている。多少、客の動きは伸びてきているため、これから夏祭り、秋祭りに向けて、消費が盛んになってくるのではないかと期待をしている。
	○	乗用車販売店（経営者）	・当地域の自動車メーカーは、輸出に力を入れていて、日々数十台の車両運搬車が港へ向かって発進している。サプライチェーンも僅かではあるものの、元気がみえてきている。街の飲食店街にも活気が出てきたかもしれない。
	○	乗用車販売店（販売担当）	・行動制限が解除されたので、コロナ禍と比べて雲泥の差というほど、実感として景気が良くなっている。ただし、第8波が収まった後、現在、再び感染拡大の噂が出ているが、それを払拭できるくらい観光客が出ているため、当社としてはこのまま良い状態が続くのではないかと。
	○	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・近隣の週末開催イベント等が数か月先まで予定が確定するなど、集客が見込める状況になっている。また、県外からの来訪者も増えている。
	○	一般レストラン（経営者）	・梅雨が明ければ、夏休み、お盆等の行楽シーズンとなるため、より一層来客数は増える。
	○	都市型ホテル（経営者）	・若干戻りつつあると実感している。
	○	都市型ホテル（支配人）	・季節が秋から冬へ向かい、いまだ先行き不透明な部分も多少はある。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊やレストラン、宴会共に、予約数は堅調に伸びている。物価高に伴う単価引上げのお願いも理解してもらっている。宴会件数はコロナ禍前には近づいてきているものの、1件当たりの人数の戻りがやや弱く、新型コロナウイルスの感染第9波などの報道が足かせとならないことを願いたい。
	○	旅行代理店（所長）	・来月に控えた新型特急車両の運行開始も起爆剤となり、夏休みに向けて、来訪客の増加に期待感が持てる。
	○	タクシー（経営者）	・全体的に動きが良くなってきたので、この先も良くなるのではないかと。
○	通信会社（経営者）	・現状の流れで受注が増えれば、多少なりとも売上は改善していく。ただし、今までの疲弊が激しかったので多少の改善があっても、通常運転に戻るには数年の時間を要する。	
○	テーマパーク（職員）	・旅行需要が回復傾向にあるものの、都市部の観光地に比べて、地方の観光地では急激な回復は見込めない。	

○	美容室（経営者）	・店頭小売販売の化粧品売上は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も下がったまま地をはっている。いまだにマスクを外せない現状では打つ手がなく、サマーセール商材の仕入れも抑えなくてはならない。
○	設計事務所（所長）	・価格高騰も踏まえた上で、これから徐々に建設をしていく動きがある。
○	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	・規模の大小はあるものの、積極的な設備投資の話が増えている。反転攻勢の姿勢に転換しつつあると感じている。
□	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・地域のイベント、祭り、体育祭等もできそうな様子なので、周辺の人々にも活気が出てきているが、まだしばらくは心配である。物価上昇の一因であるロシアとウクライナの戦争が終わってくれば、何とかなるのではないかと。
□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・しばらくはお中元の商材が動くので、変わらない。
□	百貨店（営業担当）	・外出に伴う関連商材の回復は期待できるものの、電気料金の値上げを始めとした物価高騰による生活防衛意識も依然として高く、景気は横ばいが想定される。
□	百貨店（営業担当）	・非食品の動きは回復基調にあるが、食品売場にはいまだに値上げやコスト高の影響があり、全体の売上回復については先行き不透明感が否めない。
□	スーパー（総務担当）	・値上げが落ち着けば改善されると思うものの、どうなるか分からない。
□	衣料品専門店（販売担当）	・当店のように季節衣料を扱っている場合、通常でもこれから暇な8月に向かっていく。その上、新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えることが日常になった人が増えている場合、今後、今以上に人が回遊するような状況に戻るかどうかは相当に難しい。
□	家電量販店（店長）	・来客数及び単価を上げていくのは、依然として厳しい状況にある。
□	乗用車販売店（従業員）	・受注残の増加が良くない状況だが、車両の納期遅延状況は解消されてきている。
□	自動車備品販売店（経営者）	・株高もあり、やや上向きの感じもあるが、身の回りでは良くなる条件が見当たらない。
□	住関連専門店（店長）	・値上げを飲み込むほどの対策はなく、必要最低限の物しか買わない客が多いため、変わらない。
□	住関連専門店（仕入担当）	・まだしばらくは単価上昇と来客数減少による販売の減少が続く。
□	その他専門店〔靴小売業〕（経営者）	・客の動向は現状のまま変わらない。後は、メーカーの生産と入荷が正常化することが大切な要素である。また、7月以降、販売価格の値上げ要求が増え、送料も確実に上がっている。こうした要因が重なって、現状が継続しそうである。
□	都市型ホテル（総支配人）	・競合ホテルが営業を再開して、一時的に稼働率等が落ち込むかもしれないが、インバウンドやスポーツ団体の受注が好調であり、料飲部門と合わせると、変わらず好調を維持できると見込んでいる。
□	旅行代理店（経営者）	・これから先、仕事は増えるかもしれないが、旅行業では運転手が不足しており、仕事をこなす人が減っているために断る仕事が出てくるとみている。
□	タクシー運転手	・タクシーの利用客は、これから先も増えそうにない。
□	通信会社（社員）	・2～3か月先で考えると、悪くはならない。
□	通信会社（営業担当）	・前年比では良くなると思うが、前月比では季節要因を取り除けば停滞気味になる。
□	通信会社（局長）	・今のところ特にプラス要因、マイナス要因となるような政策がない。
□	ゴルフ場（従業員）	・猛暑が予想され、来場者数への影響が懸念される。
□	競輪場（職員）	・個人消費の伸びが期待できる要因は考えられない。
□	住宅販売会社（経営者）	・新型コロナウイルス感染症は落ち着き始めたが、景気回復は見込めない。地価上昇の見込みや要因がみえてこないことが原因といえそうである。
▲	スーパー（商品部担当）	・2か月先に商圈内に競合店が新規オープン予定であるため、やや悪くなると回答したが、どこまでの影響があるか分からない。内部的には、買上点数の減少は変わらないとみている。

	▲	コンビニ（経営者）	・売上が新型コロナウイルス感染症発生前まで回復することはかなり厳しく、前年並みで推移するとみられる。特に、大手企業の工場関係者が戻ってきていない。経営的には、電気代の高騰とその他雑費の値上げにより、利益の減少は避けられない状態が続いている。
	▲	一般レストラン（経営者）	・今後、物価高がどのくらい影響するのか。単価は高いままだが、来客数は減るのではないか。
	▲	その他飲食〔給食・レストラン〕（総務）	・事業所給食では、食材費、水道光熱費に加えて、人件費も上昇しているものの、新規採用が進まない状況にある。賃上げ等の報道があるなかで、人材確保が新規取引先の受託や業績拡大のネックになっており、今後は受託先の選別にも踏み込まざるを得ない状況となっている。
	▲	都市型ホテル（支配人）	・新型コロナウイルス感染者の受入れ施設だった近隣ホテルが、8月に再オープンするため、やや悪くなる。
	▲	通信会社（経営者）	・値上げ前の駆け込み需要が一周して、これからは買い控えになる。テレビ等では、度々賃金が上昇しているとの報道があるが、それは国内有数の大手企業の話で、地方や多くの中小零細企業は、仕入コスト上昇で苦しんでいるのが現状である。
	▲	通信会社（総務担当）	・国に統制されている値引き額への規制が更に厳しくなり、確実に新製品の販売は悪化する。
	▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・ガソリン価格高騰に始まり、物価高の追い打ちや働き方改革の波に付いていくには、企業体力を心配しながらの経営を強いられている。
	×	一般小売店〔家電〕（経営者）	・国民の生活が苦しいのに増税をしようとしている。これ以上商売にならない。また、インボイスは弱者いじめの制度なのでやめてほしい。
	×	家電量販店（店員）	・耐久消費財の買換え需要を促進させる施策が欲しい。天候頼みだけでは景気は膨らまない。
企業 動向 関連  (北関東)	◎	—	—
	○	窯業・土石製品製造業（経営者）	・いろいろなものが値上がりしているが、落ち着いてきたというか慣れてきたというべきか、現状のまま推移するような気がしている。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・自動車向けの応援生産が本格的に立ち上がる予定があり、売上増加が見込める。
	○	一般機械器具製造業（経営者）	・期待を込めてやや良くなるとしている。
	○	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・半導体や部品調達の不安は少しずつ解消しているものの、いまだに生産がストップすることもある。少しずつ生産計画台数が増えてきているため期待はある。ただし、いまだに当月になってみないと分からない。2～3か月先に関しては何ともいえない。
	○	経営コンサルタント	・賃金改定や人材確保のための賃金引上げの動きもあって、少しずつ家計収入の見通しが良くなる傾向である。ただし、物価上昇もあるため、なかなか地域経済の好転につながりにくい。企業では人手不足が心配される。
	○	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注状況からみても、納入件数は更に増加し、収益も良くなる。
	□	窯業・土石製品製造業（総務担当）	・これからも原材料価格の値上がりが心配である。
	□	金属製品製造業（経営者）	・現状はととても大変だが、仕事の打合せが入っているため、これから先のことには希望を持っている。
	□	金属製品製造業（経営者）	・今年1年間の受注予定は低調なまま変わらない。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・取引先に単価を上げることを了承してもらったら、受注量が下がってしまった。材料、人件費等が高騰しており、厳しい対応ではないか。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	・現状と同じような生産計画で推移しているため、変わらない。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・取引先は十数社あるが、徐々に良くなっており、この2か月ほどは良くなっている。ただし、今後もこのまま取引先の様子や受注量等が伸びていくとは思えないため、2～3か月後は変わらないのではないか。
	□	その他製造業〔消防用品〕（営業担当）	・今もまだ物価高などが続いているため、変わらない。

	□	建設業（開発担当）	・5月末現在では、今期発注は2か月分で、まだ10か月残っている。当社受注が前年比10%減少となっているが、今後の発注に期待したい。
	□	輸送業（営業担当）	・梅雨も明け、本格的に、夏物家電、特に、省エネエアコン、電子扇風機、サーキュレーター等の物量は前年並みを確保しそうである。しかし、円安による燃料価格の高騰や協力運送車両費も高くなっているため、利益は薄くなりそうである。
	□	広告代理店（営業担当）	・良くなる材料は見当たらない。広告業や印刷業の苦境には、終わりがみえない。
	□	司法書士	・現状、投資や何か企画物があってそれに基づくということではなく、相続手続等を中心に、余り変わらない仕事が多くなっている。そのため、増えもしないが、余り減りもしない。
	□	社会保険労務士	・今年の夏は通常の夏に戻るだろうが、電気代が上がるなか今夏は暑くなりそうな予報で、各種商材の値上げも続くだろうし、景気は大きくは変わらない。
	▲	建設業（総務担当）	・とにかく工事量が足りない状況で、先行きが不安である。
	▲	不動産業（経営者）	・電気料金や諸物価が上がって管理費が上昇しているものの、賃貸等の賃料は変わらないため、やや悪くなる。
	▲	不動産業（管理担当）	・補助金縮小と円安のため、燃料費は今後も高い状態が続くとみられる。また、資機材の価格改定の話も出ているため、一段と厳しくなってくる。
	×	—	—
雇用 関連  (北関東)	◎	学校〔専門学校〕（副校長）	・インバウンドにより観光業が回復しており、留学生もかなり増えてきているため、消費行動も更に増加傾向になるのではないかと。
	○	人材派遣会社（社員）	・前年同月との比較で考えると、前年とは違い、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限がなくなり、個人についても、段々と意識が薄れてきている。宿泊施設関係の稼働率は上がる見込みで、全体的な人の活動も活発化しているようだが、人手不足なので、仕事があっても受けられないところも多くなっており、その辺りが不安要素である。
	○	人材派遣会社（管理担当）	・携帯電話修理業務の計画数が増加しており、やや良くなる。
	□	人材派遣会社（社員）	・特別改善する要因はないものの、職種にかかわらず求人数は増加傾向にある。
	□	人材派遣会社（従業員）	・人材派遣業だが、人材が集まらない上に求職者数が少ない状況は変わらない。
	□	職業安定所（職員）	・3か月前と比べて、前年同月からの求人数増減率が、飲食、サービス業、医療、福祉分野では増加傾向が続いているものの、建設業、製造業では2か月連続で減少している。
	▲	人材派遣会社（経営者）	・ボーナスシーズンではあるが、余り期待しているという話は聞いていないため、購買力は低下していくか、最小限に抑える傾向とみている。公共料金等も上がっているため、ボーナス支給等の収入があっても、無駄遣いは控えている様子が見える。
	▲	職業安定所（職員）	・G7を始めとするグローバルな動きで、物価上昇が続いている。
	×	*	*